



2026年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年7月14日

上場会社名 株式会社エスエルディー

上場取引所 東

コード番号 3223

URL <http://www.sld-inc.com/>

代表者（役職名） 代表取締役社長

（氏名） 有村 譲

問合せ先責任者（役職名） 代表取締役社長

（氏名） 有村 譲 （TEL）03-6866-0245

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年2月期第1四半期の業績（2025年3月1日～2025年5月31日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年2月期第1四半期	945	0.2	40	△20.5	40	△18.0	39	△18.4
2025年2月期第1四半期	943	△0.0	51	40.1	49	25.0	48	25.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年2月期第1四半期	20.25	—
2025年2月期第1四半期	25.96	—

（注）潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの希薄化効果を有していないため記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年2月期第1四半期	1,179	505	42.8
2025年2月期	1,074	497	46.2

（参考）自己資本 2026年2月期第1四半期 504百万円 2025年2月期 496百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年2月期	—				
2026年2月期（予想）		0.00	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年2月期の業績予想（2025年3月1日～2026年2月28日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	3,822	4.4	212	47.4	212	48.5	206	43.6	111.85

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年2月期1Q	1,560,864株	2025年2月期	1,560,864株
② 期末自己株式数	2026年2月期1Q	129株	2025年2月期	129株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年2月期1Q	1,560,735株	2025年2月期1Q	1,560,735株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る 1 株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
(A 種種類株式)	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025 年 2 月 期	—	—	—	32,000.00	32,000.00
2026 年 2 月 期	—				
2026 年 2 月 期 (予想)		—	—	32,000.00	32,000.00

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期累計期間の財政状態の概況	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(収益認識関係)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期累計期間の経営成績の概況

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善等を背景に景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、米国の新関税政策の導入や国際紛争の影響による不確実性が高まっており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、米をはじめとした原材料費の高騰、賃上げや労働力不足の解消のための人件費、求人費といった費用の増大を招いており、業界を取り巻く経営環境は厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社におきましては、「To Entertain People～より多くの人々を楽しませるために～」という企業理念のもと、「食で好きをもっと楽しく」の実現を経営方針として掲げ、飲食サービスの健全な成長とコンテンツ企画サービスの拡大を実施してまいりました。

(飲食サービス)

飲食サービスにつきましては、すべての店舗においてお客様に安心して飲食を楽しめる空間を提供するために、更なる「CS（顧客満足度）と収益力の向上」を掲げ、集客改善に向けた設備投資などを実施しております。

また、サービス向上のため従業員に対する教育施策やDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進、人材・店舗資産を有効活用するなど業務の効率化を当第1四半期累計期間においても推進してまいりました。

当社店舗においては、アニメ、音楽アーティスト、キャラクターなどの優良コンテンツとのコラボレーションカフェを継続して実施するほか、季節毎にお客様のライフスタイルに合わせた商品を提供し、お客様の来店動機の創出、体験価値向上に努めてまいりました。また、設備投資による増席や貸切パーティー等による顧客獲得施策も実施しております。

これらの結果、当第1四半期累計期間における当サービスの売上高は661百万円（前年同期比0.7%減）となり、直営店舗数につきましては29店舗となっております。

(コンテンツ企画サービス)

コンテンツ企画サービスにつきましては、アニメやゲーム、漫画、アイドル、音楽アーティスト等の優良コンテンツを活用した常設のコラボカフェの展開、他社が経営する飲食店舗の開店支援業務及び運営業務の受託などいわゆる企業間取引（BtoB）のビジネスモデルであるプロデュース事業などへの取り組みを行っております。

運営受託店舗のキャラクターカフェを中心に、インバウンド需要による訪日外国人観光客の集客が引き続き好調に推移しており、売上高は前年を超えることができました。

この結果、当第1四半期累計期間における当サービスの売上高は283百万円（前年同期比2.3%増）となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間における業績は、売上高が945百万円（前年同期比0.2%増）、営業利益40百万円（前年同期比20.5%減）、経常利益40百万円（前年同期比18.0%減）、四半期純利益39百万円（前年同期比18.4%減）となりました。

なお、当第1四半期累計期間における売上高については前第1四半期累計期間より増収となりましたが、営業利益、経常利益、四半期純利益については、店内改装に伴う家具等の設備備品の費用計上や設備投資による減価償却費の計上の影響により、前第1四半期累計期間より減益となりました。

(2) 当四半期累計期間の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期会計期間末の資産合計は、前事業年度末と比較して104百万円増加し、1,179百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末と比較して102百万円増加し、772百万円となりました。これは主に、売掛金が80百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末と比較して2百万円増加し、406百万円となりました。これは主に、工具、器具及び備品が2百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末と比較して97百万円増加し、674百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末と比較して97百万円増加し、575百万円となりました。これは主に、買掛金が31百万円、未払費用が27百万円、預り金が21百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

固定負債は、前事業年度末と比較して大きな変動なく、98百万円となりました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末と比較して7百万円増加し、505百万円となりました。これは主に、配当金の支払いにより利益剰余金が32百万円減少したものの、四半期純利益を39百万円計上したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年2月期の業績予想につきましては、2025年4月14日の「2025年2月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年2月28日)	当第1四半期会計期間 (2025年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	317,237	342,363
売掛金	253,319	333,683
原材料及び貯蔵品	18,977	18,904
未収入金	16,849	7,002
その他	64,203	70,778
流動資産合計	670,587	772,732
固定資産		
有形固定資産		
建物	393,936	398,448
減価償却累計額	△324,505	△328,610
建物（純額）	69,430	69,838
機械及び装置	9,000	9,000
減価償却累計額	△8,999	△8,999
機械及び装置（純額）	0	0
工具、器具及び備品	131,246	135,544
減価償却累計額	△121,141	△122,523
工具、器具及び備品（純額）	10,104	13,020
有形固定資産合計	79,535	82,858
無形固定資産	161	126
投資その他の資産		
投資有価証券	1,500	1,500
繰延税金資産	73,421	73,421
敷金及び保証金	246,950	246,950
その他	2,316	1,815
投資その他の資産合計	324,188	323,687
固定資産合計	403,885	406,672
資産合計	1,074,472	1,179,404

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年2月28日)	当第1四半期会計期間 (2025年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	84,447	115,691
未払金	63,047	77,738
未払費用	140,559	167,712
短期借入金	100,000	100,000
預り金	22,179	43,570
未払法人税等	5,384	1,286
資産除去債務	14,492	14,527
その他	47,778	54,958
流動負債合計	477,889	575,485
固定負債		
資産除去債務	92,507	92,737
その他	6,367	5,807
固定負債合計	98,874	98,545
負債合計	576,764	674,030
純資産の部		
株主資本		
資本金	48,876	48,876
資本剰余金	351,808	351,808
利益剰余金	96,191	103,857
自己株式	△168	△168
株主資本合計	496,707	504,374
新株予約権	1,000	1,000
純資産合計	497,708	505,374
負債純資産合計	1,074,472	1,179,404

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)
売上高	943,415	945,257
売上原価	182,637	185,871
売上総利益	760,778	759,386
販売費及び一般管理費	709,308	718,442
営業利益	51,469	40,943
営業外収益		
受取利息	—	0
受取保証料	1,282	—
その他	159	263
営業外収益合計	1,442	263
営業外費用		
支払利息	393	222
株式交付費償却	1,388	—
その他	1,202	32
営業外費用合計	2,984	255
経常利益	49,927	40,952
税引前四半期純利益	49,927	40,952
法人税、住民税及び事業税	1,346	1,286
法人税等調整額	—	—
法人税等合計	1,346	1,286
四半期純利益	48,581	39,666

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社の税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社は、店舗の運営等を通じたカルチャーコンテンツの提供を行う事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)
減価償却費	3,326千円	5,685千円

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当社は、店舗の運営等を通じたカルチャーコンテンツの提供を行う事業の単一セグメントであり、顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、以下のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)
飲食サービス	666,306	661,874
コンテンツ企画サービス	277,109	283,383
顧客との契約から生じる収益	943,415	945,257
その他の収益	—	—
外部顧客への売上高	943,415	945,257